

## 要注意！ キクイムシの被害



あまり聞きなれない名前ですが・・・  
今、「キクイムシ」の被害が拡大中です!!!

キクイムシってなんでしょう ???  
キクイムシは、**家具や建材につく虫**です。

とくにラワン材を好みますが、

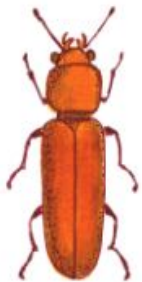
**最近シックハウス症候群などをさけて無垢材・自然素材でおうちをつくり、さらに木材の表面に、ニスやラッカーなどの仕上げをしないタイプのおうちが増えて**います。

材質がいろいろに、虫がきらう塗装などをしないわけですから・・・虫は「いいなあ・・・」と思ってよこんで住みついてしまいます。

建材や家具の表面に穴があき、そのまわりにきな粉のような木材の粉がこぼれている場合、キクイムシによる被害が疑われます。



### ● 敵を知る・・・キクイムシとは・・・???



ヒラタキクイムシの成虫



幼虫

～築1～2年の住まい・新しい家具～そこから白い粉を見つけたら要注意！

ヒラタキクイムシは、「乾いた木」を食害する虫で、おもに住宅や家具に被害を与えます。

放っておくと数年間続き、乾いた木材が穴だらけになることがあります。

被害は4～6月頃、家の中の木材部分や家具の中などから木材の粉が見つかることがあります。

よく見ると、粉の中心部には直径1～2ミリメートルの穴があいています。

これは木材の中で成虫になったヒラタキクイムシが外にでるための穴です。

被害を受けやすい身近な木材は、一般にラワンと呼ばれている南洋産広葉樹のほか、**ナラ、ケヤキ、シオジ、タモ、キリ**などで、木材ではありませんが**竹**も被害を受けます。

これらを使用した合板も同様です。

針葉樹といわれる**スギ、ヒノキ、マツ**などは被害を受けません。

新築後1~2年の住宅等からヒラタキクイムシの被害を受けた例をよく耳にします。  
栄養分は時間がたつと変化しておいしくなくなりますから、被害を受けるのは必ず新しい材です。

シックハウス等の規制で建材に使用される防虫薬の効き目がやさしくなったため、虫たちにとっては、食害しやすくなったといえます。  
発生時期も暖くなる春より早い時期に発生している例も少なくないようです。  
住宅も断熱化が進み冬の寒い時期でも虫たちにとっては過ごしやすい環境であり、ふ化が早まるのでしょ。



**早期対策**がものをいいます!!!

アフターで対応できる場合もありますからお気軽に声をおかけください。

わたしたちの大事なマイホームです。  
早期駆除をおこなってわるい害虫さんたちにはとっとと帰ってもらいましょう!!!

